

# 第6学年1組 算数科学習指導案

令和7年6月19日(木) 第2時限 6年1組教室

## 1 単元 場合を順序よく整理して(本時2/9)

### (1) 目標

- ①組み合わせや並べ方を順序よく整理して調べ、落ちや重なりのないように観点をきめたり、図や表を工夫したりして調べればよいことを理解することができる。(知識及び技能)
- ②組み合わせや並べ方を順序よく整理し、落ちや重なりのないように調べる方法を考え、すべての場合のうち、条件に合うものを考え、判断することができる。(思考力・判断力・表現力等)
- ③場合の数を調べることに進んで関わり、落ちや重なりのないように図や表を使って順序よく整理することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとすることができる。

(主体的に学習に取り組む態度)

### (2) 指導計画(9時間完了)

学習内容	教師の活動・意図
<p>○落ちや重なりがないように、組み合わせを調べる方法を考えよう。①</p> <p><b>○表にかいて、組み合わせを調べよう。②(本時)</b></p> <p>○順序よく整理して、並べ方を調べよう。③</p> <p>○いくつか選ぶ時の並べ方を調べよう。④</p> <p>○学習内容を身につけよう「練習」⑤</p> <p>○全部の行き方を調べて、条件にあう場合をみつけよう。⑥</p> <p>○いろいろなまわりの中から、条件にあう場合をみつけよう。⑦⑧</p> <p>○学習内容を確認しよう「たしかめよう」⑨</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業でのゲームの組み合わせの場面を想起することで自分事として考えられるようにする。</li> <li>・「落ち」「重なり」の用語や表のかき方を教える。</li> <li>・前時の活動を振り返り、同じように表にかいて調べればできそうだという見通しをもたせる。</li> <li>・選ぶものの組み合わせ方と選ばないものの組み合わせ方を比較することで、よりよい調べ方に気づくことができるようにする。</li> <li>・これまでとの違いを比べることで、すべての組み合わせ方を見つける場合には「樹形図」が適していることに気づかせ、並べ方を調べる方法の理解を深める。</li> <li>・いくつか選んで並べるときの場合も樹形図を使えばできそうだと見通しをもたせる。</li> <li>・図を見ただけでは理解が難しい児童には、教科書の「行き方」コンテンツを活用する手立てをとる。</li> <li>・既習の表、図、絵などをもとに考え、どのよう調べたのか説明する時間を十分に取る。</li> <li>・文章題の理解が難しい児童には、同じ場面を設定し、体験することで見通しをもたせる。</li> </ul>
<p>〈チーム学習を通してめざす子供の姿〉</p> <p>図や表を使って順序よく整理する活動を通して、他者と関わり合いながら主体的・対話的に学習に取り組み、場合の数を求めるよりよい方法に気づき、生活や学習にいかそうとする姿。</p>	

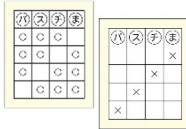
## 2 本時の学習指導

### (1) 目標

- ・選ばないものに着目する方法のよさに気づき、表を使って落ちや重なりなく、組み合わせ方を調べることができる。 (知識及び技能)

### (2) 展開

(伝える力を伸ばす手立て)

段階	学習活動	教師の活動と手だて
つかむ (5)	<p>1 教科書72ページ3の問題を読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>バニラ、ストロベリー、チョコレート、抹茶の4種類のアイスクリームがあります。 このうち、3種類を選んで買います。 組み合わせは、全部で何とおりありますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表にかいたり、図にかいたりして組み合わせを調べたよ。</li> <li>・落ちや重なりがないようにしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の問題を電子黒板に映し、掲示する。</li> <li>・前時の学習を想起することで、本時の学習の見通しがもてるようにする。</li> <li>・「落ちや重なりなく調べる」という言葉が子供から引き出せるように「どんなことに気をつけたらよいか」と尋ね、課題につなげる。</li> </ul>
みかく (35)	<p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>落ちや重なりがないように調べる方法を考えよう</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>ゴール：よりよい調べ方を見つけ、組み合わせを調べることができる</p> </div>	
10	<p>3 組み合わせ方を調べる。○</p> <p>4 調べ方をチームの友達に説明する。T</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買うものに○をつけて考えました。</li> <li>・買わないものに×をつけて考えました。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方法の見通しをもつことができるように「どんな方法でやれそう」と尋ねる。</li> <li>・チームでどのように考えたのか説明する時間を設け、その後全体の場で共有する。</li> <li>・買わないものの組み合わせ方が児童から出ない場合は、教科書ページを見せる。</li> </ul>
10	<p>5 まとめを話し合い、全体場で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選ばないものの組み合わせ方で考えるやり方があると知った。</li> <li>・選ばないものの組み合わせ方の考え方が簡単そう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つのやり方を比べ、それぞれのよさを見つけるよう尋ねる。</li> <li>・「落ちや重なり」を防ぐためによりよいかき方はどちらか話し合う時間を設ける。</li> </ul>
10	<p>6 教科書72ページAの組み合わせを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選ばないものの組み合わせ方でやってみよう。</li> <li>・これは、選ばないものの組み合わせの方が速くできそう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教えている児童や教えてもらって理解できた児童に称賛の声をかける。</li> <li>・練習問題が終わった児童には、他のやり方はないかと尋ね、いろいろな考え方を見つけられるようにする。</li> </ul>
ふり返る (5)	<p>7 本時の振り返りをする。G</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選ばないものに着目すると、より落ちや重なりがなく調べることができると分かった。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の授業で分かったこと、できるようになったことなどを書くように指示する。</li> </ul>

### (3) 評価

- ・よりよい調べ方について話し合い、選ばないものに着目して表をかき、組み合わせを調べることができたか。(活動5、6、7の様子より)